

(3) [1] (説)

…全ての事物は相互依存 (それ独自で成立してていいるものなどない)
∴これも諸法無我 cf. 我執 ←→ おかげさま (エコロジーの考え方)

(4) [2] (説)

4つの真理←あきらかにする (+) ←あきらめる (-)

- 1 [3] 諦 … 生きることは苦 (結果)
- 2 [4] 諦 … 苦は煩惱から生じる (原因)
- 3 [5] 諦 … 煩惱を滅ぼして悟る (目的)
- 4 [6] 諦 … 悟りは八正道による (手段)

(5) [7] 道

… 正^{しょうけん}見・正^{しょうし}思・正^{しょうご}語・正^{しょうごう}業・正 [8]・正^{しょうしょうじん}精進・正 [9]・正 [10]
行い 生活 努力 注意 禪定 (ぜんじょう)

(6) [11] 道 cf. 「がんばりすぎ」 (がんばっていることが「自己目的化」) も N G

(7) [12] … 与^{よらく}樂拔^{ぼつ}苦。仏教の愛

A と B A B

(8) 俗人 (一般信者) への教え

- 1 [13] を敬え
… 仏・法・僧
- 2 [14] 戒 (五戒) ex. 不殺生、不妄語
うそ

③ 展開 cf. A.D. 1 C、ブツダが信仰の対象化

(1) [15] 部 (小乗仏教)

「小さい乗り物」= 悪口

- 1 戒律厳守で保守的
- 2 自己の救済 (悟り) が目的
- 3 [16] 漢 が理想
修行で悟った人

(2) [17] 部 (大乘仏教)

「大きな乗り物」= 自稱

- 1 戒律に自由度大きい
- 2 一切 [18] (生きとし生けるもの) の救済が目的
- 3 [19] が理想 … 利他行を実践
- 4 六 [20] 蜜 ex. 布施 … 貧しい人などへの施^{ほどこ}しや寄付
「修行」

5 [21] の思想

- a [22] (ナーガールジュナ) が「[23] 是空、[23] 是色」で理論化 (『[24] 論』)
… 全てのものは実体がなく、生滅・変化 ← 縁起説を深化
- b [25] の唯 [26] 論 (唯識思想) … 全てのものは心の働きの所産

認識する主観

cf. 兄は無着

MEMO etc.